

成長する種

マルコによる福音書四章21〜34節

(木)

夜昼、寝起きしているうちに、種は芽を出して成長するが、
どうしてそうなるのか、その人は知らない。(27)

種の成長について語られています。農夫は種を蒔くことは出来ても、その種が芽を出し育っていくのは彼の努力によるものではありません。彼が寝ているうちに作物は成長します。「どうしてそうなるのか、その人は知らない」とあるように、農夫の力以外の力が働いて種は成長します。神が自然の働きをそのように造られたからです。小さな種に、創造者なる神の力が働いています。御言葉の種が蒔かれる時も、神がその種を育ててくださいます。「私が植え、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させてくださったのは神です」(第一コリント三六)。信仰の成長のために、自ら努力することはとても尊いことです。しかし同時に、成長させてくださるのは神であることを忘れないようにしましょう。神が私を育てていくくださると思うとき、与えられた種を大切にしている心が生まれることでしょう。